

# 森下ユチ子



2017年7月  
和歌山市会議員団  
TEL(435)1113  
FAX(421)4181

## 6月議会報告

6月13日に開会された定例市議会是一般質問、各常任会の審議を経て、29日、最終日の本会議において、市長から提案された議案すべて全会一致、または賛成多数で可決されました。

日本共産党市議団は19件のうち15件に賛成、問題のある4件には反対しました。

.....✿.....✿.....

### 図書館を指定管理に？

市民図書館が現在の場所から、2019年（H31年）10月に南海市駅のビルへ移転します。それに先だって図書館の管理をこれまでの教育委員会から指定管理者を選定し、行うための条例改正が上程されました。

開館時間の延長や休日を



今年は梅雨入りしても、梅雨前線が南下したまま、雨の降らない日が続いていました。空梅雨かと思われましたが、やっと6月も下旬になって雨が降るようになった今日この頃。それでも毎年、どこかで通常の雨量をはるかに超える大雨が降り、被害をもたらすのは困りものです。適度ということが自然現象の中にもなくなってきたのでしょうか。

この時期は湿気が多く食中毒にも気をつけなければならない季節です。生ものは避けて、梅干しや酢などを上手に使って乗り切りましょう。



衆議院和歌山1区予定候補

## 原やすひさ

です



パチンコを一度もしたことがない、という人は少数派だろう。古来、賭け事は人の抑えがたい欲望のひとつなのか。禁止すれば地下に広がる。だが、「カジノ解禁」には賛成できない。身を亡ぼす人がふえるだけだ。

賭け事をお天道さまのもとでやってはならないというのは、持統天皇の「双六禁止令」から千数百年の歴史の教えだ。賭け事で損をし、身を亡ぼす人を生み、それを経済の「起爆剤」などに使うという政治は「悪代官」並みだ。

アベ首相は外国カジノを視察して「日本の経済成長に資する」といったが、人の不幸を踏み台にしてはならない。カネが欲しくても、してはならないことがあるのだ。

減らすことなどがメリットだといいますが、指定管理者は5年ごとに変わる可能性もあります。図書館の業務で最も大切なのは、資料の収集、選書の公平性、専門職（司書）の経験の積み上げなどですが、これらの継続性が保たれるのか懸念されます。

どんな図書館であって欲しいのか、どうあるべきなのか、これからの図書館のあり方については、もっと減らすことなどがメリットだといいますが、指定管理者は5年ごとに変わる可能性もあります。図書館の業務で最も大切なのは、資料の収集、選書の公平性、専門職（司書）の経験の積み上げなどですが、これらの継続性が保たれるのか懸念されます。

### 一般質問

#### ◆再び I R カジノ

#### 構想を質す

2月議会以降、市長は知事と東京へ出かけ、I R 業者に和歌山への誘致をプレゼンしアピールしている。報道されるなど、マスコミもこぞって行政の動きに注目しています。

時間をかけて、市民とともに話し合うことが必要です。日本共産党は先日、県委員会、北部地区委員会、和歌山県議団、和歌山市議団、海南市議団の連名で「カジノを含むI R 誘致に反対する」声明を出しました。誘致に反対する市民の会や弁護士会のみならず、経営者協会や建築家、医療団体、PTAなどにも声明を届け、聞いた意見を紹介しながら、質問に臨みました。

(裏面に続く)

(表面より)

### 一般質問

#### ◆和歌山型 I R ならびに ヤンブル依存症を防止できる？

日本は国際比較でギャンブル依存症にかかる人の率がとても高い、ギャンブル大国と言われています。

それにもかかわらず、国は何ら対策を講じてきませんでした。「I R 解禁法」の審議の際にも、これから対策を講じ、I R の設置で得た利益を対策費とすると答弁し本末転倒だと批判を受けていました。

刑法に定められている違法性に照らして、その矛盾をどうするのかと質したところ、「外国人限定にするので和歌山市民は依存症にならない」などと答えました。外国人なら依存症になってもいいと考えるのだとしたら、それは極めて無責任です。

#### ◆リゾート法の焼き直し

90年代に国が作った「リ

ゾート法」により、マリナー、ホテル、ゴルフ場の3点セットと言われたリゾート開発が全国で進められました。環境破壊と経済の低迷を招き、破たんに見舞われたのは記憶に新しいところでした。

今回の I R 構想も当時と同じ「経済活性化、観光振興の起爆剤」という言葉が振りまかれており、その見通しは疑問です。

私は人の不幸の上に成り立つような事業に地方自治体が関わるべきではない、立ち止まって考え直すべきだと指摘しました。

市長は「外国人専用が認められなければあきらめる」としながらも、和歌山型の魅力を広げて経済や観光振興の起爆剤にと繰り返し返すのみでした。

引き続き、ギャンブルに頼らないまちづくりを、とみなさんとがんばる所存です。

.....✿.....✿.....

#### 6月27日 ブログ「さっちゃんね...♪」より 祖母の旅立ちとつばめの巣立ち



6月20日未明に父方の祖母が亡くなりました。103歳でした。4月に肺炎を起こしたと聞いて案じていましたが、しばらく連絡がなかったのが容態が安定したと思っていた矢先でした。

耳が遠くなり、足腰が弱ってはいたけれど、私たちが特養を訪ねると名前も年齢も間違わずに言える、しっかりものの祖母でした。内輪だけの家族葬にするという父の意思により、文字通り家族だけの通夜と本葬。告別式の日には9年前に亡くなった祖父と同様、朝から篠突く雨。まるで空が泣いているようだ、あのときにも思ったことを覚えています。(中略) 不思議なことに、祖母が亡くなった日、つばめの雛たちが巣立ちました。祖母の魂を空へと運ぶ手伝いをしてくれたのでしょうか。

森下さち子のブログ <http://sachikogo.exblog.jp/>  
市議団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/>



### 法律相談

7月18日(火) 13:00~

7月28日(金) 18:00~

\* 市役所控え室(435-1113 森下)へ  
前もってご連絡ください。



いま、放映されているNHKの朝ドラ「ひよっこ」をご覧になっていますか。

昭和30年代後半からを描いています。

30年代後半といえば、ちょうど私の生まれたころと重なります。東京オリンピックとビートルズの来日が目下のテーマ。残念ながらその頃、私はまだ1歳~3歳なので、まったくリアルタイムの記憶がありません。でも、世の中は高度経済成長の真っただ中で活気に満ち溢れているという様子が描かれています。

当時、まだ若い父と母はどんなふう私を育てていたのだろう、などと思いながら毎日、主人公であるみね子と心を重ね合わせ観ています。みね子はすでにこの時19歳。16歳もおねえさんで大人です。それでも東京に出て一所懸命働くみね子の日々がなぜか愛おしい。これからますます、目が離せません。